

整理すると

$$\frac{du}{dt} = fv + \frac{uv}{R \cot \varphi} \approx fv$$

ここで  $f = 2\omega \sin \varphi$  でコリオリ係数、第2項は地球の曲率によるものだが極付近を除けば一桁以上小さいので省略できる。

(ホ) 以上のようにコリオリの偏向力は厳密には

$$\frac{du}{dt} = \left( f + \frac{u}{R \cot \varphi} \right) v$$

$$\frac{dv}{dt} = - \left( f + \frac{u}{R \cot \varphi} \right) u$$

となるが、地球曲率による項は極付近を除けば一般には省略できるので

$$\frac{du}{dt} = fv, \quad \frac{dv}{dt} = -fu$$

となり、速度  $V$  に対し北半球では直角に右へ  $fv$  の加速度が働くことになる。

参考：コリオリの力についてのコメントが下記の文献にも出ています。

Lesie, F. R., 1967: Comments on "Coriolis forces", Bull. Amer. Meteor. Soc. **48**, 103~104.  
Baker, D. G., 1967: Further comments on "Coriolis forces", Bull. Amer. Meteor. Soc. **48**, 458.

(天気編集委員会)

## 理 事 会 便 り

### 第 14 期 第 15 回 常任理事会

日 時：12月6日、15時～20時

場 所：気象庁予報部長室

出席者：斎藤，間野，中野，倉石。（以上評議員）高橋  
監事：島山，朝倉，小平，北岡，桜庭，岸保，  
根本，須田。（以上理事）

議 頭

#### 1. レーダの用語について

さきの理事会の決議に基き、小平理事が調べた結果が報告された。すなわち、「文部省学術用語集電気工学編では、レーダとなっている。これは10数年前電気工学の学術用語を制定するときに決められたものである。

これによれば、トランジスタ，コンデンサ，フィルタなどとなっている。

通信学会，電気学会もレーダに統一されている。気象学用語辞典ではレーダーで，気象学会では二通りのものが用いられている。」

以上の状況に基きレーダに統一の件が審議されたが，さらに物理学会など関係学会の実状を調べてから決定することになった。

#### 2. GARP 報告書の価格について

前回，山本理事から提案された上記報告書につい

て，実費として1部100円で希望する会員に配布することになった。

#### 3. 選挙管理委員長の委嘱

気象庁海上気象課長の河村会員に委嘱することになった。

#### 4. 事務局の強化について

印刷物の販売などで収入を殖やせる可能性があるため，この収入の範囲で，事務局に事務職員1名増強したい旨提案があり，可決された。なお給与などの細部は理事長と庶務担当理事に一任することとなった。

#### 5. 事務局員に対する謝礼について

増加一方の事務を薄給にもかかわらず，よく整理し遂行された中島事務局員に今迄（約2年間）の超勤手当を出したい旨提案，7万円支給することに決定。

#### 6. 学生会員の会費問題について

臨時総会で，今後の問題として早急に検討することになった上記の事項については，学生から具体的な意見を聞き，さらに地方理事などの意見も集め，3月頃全国理事会を開いて総会に出すかどうか審議するという段取りを決めた。